



防衛問題ミニセミナーを開催!!

9月29日(月)から30日(火)の二日間にわたり、米海軍佐世保基地において、在福岡米国領事館及び在日米軍の協力のもと、長崎県内において防衛施設が所在する自治体の皆様をお招きし、海洋安全保障及びサイバーセキュリティに焦点を当てた防衛問題ミニセミナーを開催いたしました。

本セミナーには、在福岡米国領事館、在日米軍、海上自衛隊、海上保安庁、地方防衛局も参加しました。



一日目は、海洋安全保障の専門家として、防衛政策と国民保護、危機管理を専門とされ、研究や執筆などを行われている日本大学の勝股秀通教授に「高まる東シナ海と日本海の戦略的価値」と題して、次にアジアとヨーロッパにおける軍事、経済、エネルギー安全保障を中心に研究されている米国外交政策研究所のシニア・フェローであるフェリックス・チャン氏に「中国の海洋戦略と九州地域への影響」と題して、最後にサイバーセキュリティの専門家として、在日米軍司令部指揮通信システム部(第6部)部長であるオスカー W シモンズ海軍大佐に「サイバーセキュリティにおけるクラウドコンピューティングの重要性」と題して、ご講演いただきました。



勝股教授



シモンズ大佐



チャン氏

参加された方々からは、「初めて聞く話だったので、非常に興味深かった。」、「あらためて、海洋安全保障の重要性が理解できた」、「防衛におけるサイバーセキュリティの取組についての話をもっと聞きたかった」などの感想をいただき、有意義な時間を共有することができました。

二日目は、基地見学として、米軍の機動揚陸艇 L CM (Landing craft mechanized) に乗船し、洋上から佐世保湾の米軍施設である針尾島弾薬集積所や庵崎貯油所などを、横瀬貯油所では L C A C (Landing craft air cushion) を見学しました。





また、米軍施設見学後には、海上自衛隊の護衛艦「いせ」の見学も実施しました。「いせ」では、艦内を見学し、護衛艦の役割や機能、さらには隊員の生活についてなど、普段きけないようなことも聞くことができ、みなさん関心されていました。





自衛隊施設及び米軍施設を配し、定期的に日米共同訓練が行われる九州地域において、自治体の皆様は防衛省・自衛隊及び在日米軍の必要性や活動を地域の方々に伝えていく上で重要なパートナーです。在福岡米国領事館担当、安全保障の専門家、米海軍士官及び防衛省職員との直接の意見交換を通じ、防衛省・自衛隊や在日米軍がアジア・太平洋地域の安全保障に寄与していること等、安全保障環境への理解を深めていただくことができました。

自治体の皆様におかれましては、ご多忙中のところ、本セミナーにご参加いただきありがとうございました。本セミナーで得られた知見等を各職場に戻られた際も有意義に活用していただければ幸いです。

これからも在日米軍をはじめ、防衛省・自衛隊へのご理解・ご協力が得られるよう、様々な取り組みを推進して参ります。